

令和7年度
福島県スポーツ推進委員協議会
第1回地区情報交換会

日時：令和7年9月5日（金）

13時00分から

場所：安積総合学習センター 第1・2・3会議室

進行（委員：県副会長）

1 開 会

2 自己紹介 あいさつ（各地区委員）

3 情報交換

- （1）地区スポーツ推進委員協議会役員及び事務局の確認について
- （2）地区スポーツ推進協議会の活動状況について
- （3）県スポーツ推進協議会役員の選出方法について

4 そ の 他

5 閉 会

地区・支部名（ ）

(1) 地区スポーツ推進委員協議会役員及び事務局の確認について

年度	会長	副会長	監事
R6～R7			
R8～R9			
R10～R11			
R12～R13			
R14～R15			

(2) 地区スポーツ推進協議会の活動状況について

--

(3) 県スポーツ推進協議会役員の選出方法について

理事	地区スポーツ推進委員連絡協議会会長 (地区スポーツ推進委員連絡協議会副会長)
監事	地区スポーツ推進委員連絡協議会副会長 (次期会長候補者)
支部女性委員代表	地区スポーツ推進委員連絡協議会事務局市町村から選出 (地区より推薦された支部女性委員を代表として選出)

記録

地区情報交換会について

◎ 地区の情報交換会について

- | | |
|---------------|---|
| 県北地区 | 事務局担当者が変更になると推進委員の活動内容が伝わらないことがある。
スポーツ推進委員のなり手がいない。
支部の交流があるとよい。(講演会や実技研修など) |
| 県中地区 | 活動状況については、行政より依頼があった内容にいてお手伝いをしている。
郡山地区は単独地区なので他支部や他地区と交流ながい。
石川地区は集まっての活動がない。推薦委員会も事務局の担当者頼みになっている現状がる。 |
| 県南地区 | 西白河地区2回の研修、東白川地区1回、ピククルボールの研修を4回
2地区の合同研修会を年1回実施できるか検討したい。 |
| 会津地区
南会津地区 | 実技はフラバールを12月に開始する。講演会は年1回実施。人口減少により
スポーツ推進委員のなり手がいない。 |
| いわき地区 | スポーツ推移委員のなり手がいない。 |
| 相双地区 | 情報交換会を実施し、スポーツ推進委員の研修や実技内容についても意見交換で
きるように努めている。 |

全体としては、地区や支部をまたいでの研修会等を検討していきたいと考えていることや人口減少によるなり手不足が課題となっていることが話し合われた。

令和7年度
福島県スポーツ推進委員協議会
第1回三部委員会

日時：令和7年9月5日（金）

13時30分から

場所：安積総合学習センター 第1・2・3会議室

進行（委員：県副会長）

1 開 会

2 あいさつ（各委員会委員長）

3 議長選出

4 報告事項

- （1）令和7年度福島県スポーツ推進委員協議会組織について
- （2）令和7年度福島県スポーツ推進委員協議会三部委員会組織について

5 確認事項

- （1）三部委員会業務内容について

6 協議事項

- （1）三部委員会活動計画（案）について
- （2）その他

7 そ の 他

- （1）第2回三部委員会について
- （2）その他

8 閉 会

5 確認事項

(1) 三部委員会業務内容について

委員会名	業務内容
総務委員会	1 進行管理 (1) 役員会、理事会の進行管理 (2) スポーツ推進委員関連表彰式の進行管理 ※開閉会の言葉（副会長） ※表彰呼名（理事長） ※進行管理 2 広報活動 (1) 県協議会のPR (2) みんなのスポーツ購読推進 (3) スポーツ推進委員手帳の購買推進 3 連絡調整
研修委員会	1 各研修会の企画・運営 (1) 女性スポーツ推進委員研修会の企画・運営 (2) 新任スポーツ推進委員研修会の企画・運営 2 県研究大会（東北地区研修会）の企画・運営 ※県研究大会（東北地区研修会）開催支部が担当する。 3 各研修会への参加者選考 (1) スポーツ推進委員リーダー養成講習会への参加者選考 (R8.3.7～3.8 予定) 2名以内（次年度県大会開催地区） ※旅費、宿泊費については県協議会負担
事業委員会	1 事業の推進 (1) ニュースポーツの普及 (2) 地域スポーツ事業の推進 2 事業のPR (1) ニュースポーツのPR (2) 地域スポーツ事業のPR 3 総合型地域スポーツクラブとの連携

6 協議事項

(1) 三部委員会活動計画（案）について

ア 総務委員会

(ア) スポーツ推進委員関連表彰式の進行管理について

※開閉会の言葉（副会長）

※表彰呼名（理事長）

※進行管理

(イ) 広報活動について

- ・県協議会のPR・・・「福スポ第49号」の発行（3月下旬）
- ・みんなのスポーツ購読率向上のための取組
- ・スポーツ推進委員手帳の購買率向上のための取組

【参考資料】

○令和7年度機関誌「みんなのスポーツ」購読状況について

みんなのスポーツ				
年度	令和7年度		令和6年度	
平均	13.6%		14.4%	
1位	徳島県	40.9%	徳島県	41.2%
2位	香川県	31.5%	大分県	33.2%
3位	大分県	29.9%	香川県	32.1%
4位	岡山県	29.8%	福島県	30.9%
5位	宮崎県	29.6%	山口県	23.0%
8位	福島県	25.2%		

※令和7年度 299人／1,1162人（令和6年8月現在）

○令和7年度スポーツ推進委員手帳購買状況について

スポーツ推進委員手帳				
年度	令和7年度		令和6年度	
平均	42.4%		44.3%	
1位	山梨県	100.3%	香川県	104.2%
2位	香川県	96.1%	山梨県	101.9%
3位	福島県	90.5%	福島県	92.4%
4位	石川県	85.4%	石川県	86.5%
5位	栃木県	76.4%	栃木県	76.5%

※令和7年度 1,072人／1,162人（令和6年8月現在）

イ 研修委員会

（ア）各研修会の企画・運営

- ・令和7年度女性スポーツ推進委員研修会の報告について
- ・令和8年度女性スポーツ推進委員研修会の計画について

（イ）令和8年度県研究大会の内容について

※県研究大会開催支部が中心となって企画・運営を行う。

（ウ）各研修会への参加者選考について

- ・スポーツ推進委員リーダー養成講習会への参加者選考（R8.3.7～3.9 予定）2名以内

ウ 事業委員会

（ア）重点目標達成状況調査について

- ・R7_アンケート内容について（別紙：様式1）
- ・R7_活動方針アンケート集計表について（別紙：様式2）

（イ）総合型地域スポーツクラブとの連携について

【参考資料】

《基本目標：令和4年度から令和8年度まで》

スポーツ基本法及びスポーツ基本計画、福島県スポーツ推進基本計画の内容を踏まえ、スポーツの実技指導及び地域住民と行政のコーディネーターとしての資質の向上を図り、総合型クラブや地域のスポーツ団体等との連携・協働を促進するなど、「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大に取り組むスポーツ推進委員を目指す。

《重点目標：令和４年度から令和８年度まで》

- １ 各市町村スポーツ推進委員会または各支部スポーツ推進委員協議会における地域住民参加型の研修会及びスポーツ教室の立案と実施 「する」「ささえる」
- ２ 行政または総合型地域スポーツクラブ等との連携事業の立案と実施 「ささえる」
- ３ 県内外で開催される各種研修会及び講習会等への積極的な参加 「する」「みる」
(対象とする研修会及び講習会)
 - ・福島県スポーツ推進委員研究大会
 - ・福島県女性スポーツ推進委員研修会
 - ・福島県新任スポーツ推進委員研修会
 - ・東北地区スポーツ推進委員研修会
 - ・全国スポーツ推進委員研究協議会
 - ・スポーツ推進委員リーダー養成講習会
 - ・生涯スポーツ・体力づくり全国会議

《重点目標の指標と根拠》

目 標	目 標 値	根 拠
重点目標１	８０％ (４７市町村)	東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機としてスポーツへの関心が高まった絶好の機会に、各市町村でのスポーツ参画人口の拡大を目指し、５年後には地域住民参加型の研修会及びスポーツ教室の実施率８０％を目指す。(R1 自主研修会の実施率が約７６．３％(45/59)であったため)
重点目標２	８０％ (４７市町村) 総合型との連携 ６０％ (３５市町村)	国の第３期スポーツ基本計画及び新たな福島県スポーツ推進基本計画において総合型地域スポーツクラブの質的充実が求められており、スポーツ推進委員には連携・協働の促進が求められている。今後、各市町村推進委員が行政・クラブと連携した事業を展開することで、地域スポーツのさらなる振興が見込まれる。(総合型との連携においては、年間５％(３市町村)が連携事業を実施していくことを目標とし、５年後には６０％を目指す。
重点目標３	８０％ (929/1162名)	県スポーツ推進委員研究大会の参加率は、H29：約３５％、H30：約２７％、R4：約１８％、R5：約２３％、R6：約３０％、R7：約３５％(田村大会４０６名)なる。(R1 台風のため中止、R2・R3 コロナ禍のため中止) 今後、各市町村で研修会・講習会が今までどおり開催され、推進委員の活動も盛んになると考えられる。毎年各市町村からの参加人数を増やしていくこととし、目標を８０％とする。

【資料１】重点目標３の達成に向けての市町村参加者率

(２) その他

7 その他

(1) 第2回三部委員会について

日時：令和8年2月17日（火）13：30～

場所：安積総合学習センター

内容：①令和8年度福島県スポーツ推進委員協議会事業計画（案）について

②令和8年度福島県スポーツ推進委員協議会三部委員会事業計画（案）について

(2) その他

ア) 県スポーツ推進委員研究大会の運営について

- ・スポーツ基金に助成金の申請をする。
- ・開催市負担金 100,000 円をお願いする。

イ) スポーツ推進委員リーダー養成講習会について（別紙）

- ・推薦対象者は普通会员であり、次年度の県大会開催支部から1名、59市町村から1名の2名を推薦する。

ウ) みんなのスポーツ売上げに係る戻し金について

- ・全国の販売冊数の減により、令和8年度から戻し金は無しとなるため、県の収入が減少する。

令和7年度 売戻金としての収入 90,840 円

エ) 県ホームページについて

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/hukusupo2023/>

県スポーツ推進委員協議会
二次元コード



記録

ア 総務委員会

県の活動をPRするためには、報道やTVなど取材がきてくれるとありがたい。
事務局より各種新聞社に情報提供してほしい。

イ 研修委員会

コロナ後、研修に参加するスポーツ推進委員が増えている。引き続き、研修内容の充実を図る。女性研修については、R8年度の座学は食事と栄養について、実技はファミリーバドミントン（須賀川市）かフラバレーボール（会津地区）の取り組み紹介を検討する。

ウ 事業委員会

重点目標3の目標値80%が高いと思われるが、各市町村のスポーツ推進委員が参加できるように声掛けをお願いしたい。併せて研修に参加する費用については、市町村スポーツ推進委員の担当者とも話し合いし、参加できるようにお願いしていく。